

株主優待のご案内

1,000株以上ご所有の株主の皆さまに株主優待品を贈呈いたしております。

ポイント1

年2回の贈呈

12月末現在の株主の皆さま

▶ 3月頃送付

6月末現在の株主の皆さま

▶ 9月頃送付

ポイント2

当社米穀製品を
お届けします。



6月末現在の株主さま	1,000株以上2,000株未満	2,000円相当の米穀製品
	2,000株以上	4,000円相当の米穀製品等※
12月末現在の株主さま	1,000株以上	3,000円相当の米穀製品

※うち2,000円相当は「切り餅」を12月中頃までに贈呈いたします。

おコメを使った
おいしいレシピー

材料 2人分

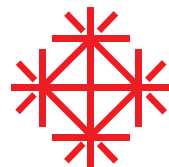
ビーフン	70g
干しエビ	大1/2
豚ひき肉	60g
にんにく	1かけ
長ねぎ	5cm
にんじん	20g
しいたけ	1枚
にら	30g
キャベツ	2枚
たけのこ	40g
水	1/2カップ
A	
がらのスープの素	小さじ1/2
ノンブラー	大さじ1
塩	小さじ1/3
レモン汁	大さじ1/2
こしょう	少々
サラダ油	大さじ1
ごま油	小さじ1

塩ビーフン

野菜のシャキシャキ感も楽しめる、エビの旨味が引き立つビーフン。
栄養バランスもよく、ランチにも夜食にもピッタリ。

■ 調理時間20分 ■ カロリー：320kcal/1人分

- 耐熱容器に干しエビと水を入れてラップをかけ、電子レンジ強で50秒加熱する。干しエビは取り出しておき、もどし汁にAの調味料を加えて調味液を作る。
- にんにく、長ねぎはみじん切りに、にんじん、しいたけはせん切りにする。にらは5cm長さに切り、キャベツはザク切り、たけのこは薄切りにする。
- ビーフンは40℃くらいの湯(分量外)に2分ぐらいつけてもどし、ザルにあげて水気をきる。
- フライパンにサラダ油、にんにく、干しエビを入れて炒め、香りが出たら豚ひき肉を入れて炒める。豚肉の色が変わったらにんにくと長ねぎ以外の野菜を加え、全体に油がまわったらビーフンと1の調味液を入れてさらに炒める。最後に長ねぎとごま油を加えさっと炒め合わせて仕上げる。



第65期 中間株主通信

平成24年1月1日 ▶ 平成24年6月30日

トップインタビュー

グループ内の事業構造改革を進める

木徳神糧株式会社

JASDAQ

証券コード：2700





グループ内の事業構造改革を進め、業績改善とさらなる発展を目指してまいります。



代表取締役社長 平山 惇

Q 上半期の営業状況をお聞かせください。

A 需給逼迫により価格高騰し、収益率が低下。鶏肉販売の採算悪化も響き、大幅な減益となりましたが、予想の範囲内と思います。

上半期の連結業績は、前年同期比7.6%の増収ながら、営業利益・経常利益は減益となりました。

主力の米穀事業では、震災・原発事故の影響によるコメの出回り不足を受け、平成23年産米の仕入価格が高値で推移する一方、消費者側の意識においても、安全・安心に対する要求が強まるなど、厳しい状況が続きました。原料仕入れ部門の努力により、価格および供給量ニーズに応えた結果、売上高は前年同期を上回ったものの、採算が悪化し、減益を余儀なくされました。

こうした米穀事業の状況は、期初の想定内に収まりましたが、子会社の内外食品株式会社を中心に展開する食品事業では、ブラジル産鶏肉の輸入増による供給過剰から鶏肉の販売価格が下落し、飼料穀物の高騰も受けて、損失が予想以上に拡大しました。当社は、内外食品への人的支援や販売チャネルの拡大協力など、全面的なサポートを実施し、業績回復に取り組んでいます。

鶏卵事業を担う子会社の東洋キトクフーズ株式会社は、前期から進めてきた構造改革が功を奏し、黒字転換を果たしています。

当社精米工場で発生する糠と製粉会社から出るふすま、輸入牧草などの供給を中心とする飼料事業は、数量や販売エリアの拡大に注力した結果、売上・利益とも計画を大幅に上回りました。

Q 海外コメビジネスの状況はいかがですか？

A 当期はベトナム事業の見直しと構造改革を進める一方、中国事業のさらなる強化を図っていきます。

当社は、ベトナムのアンジメックス・キトク有限会社、アメリカのキトク・アメリカ会社、タイのキトク・タイランド会社に加えて、昨年2月に木徳(大連)貿易有限公司を中国に設立し、この4か所の拠点を中心に海外コメビジネスを展開してきました。

このうち、ベトナムのアンジメックス・キトクは、これまで現地における日本米の栽培から販売まで一貫対応し、三国間貿易を担ってきましたが、当期に入って成長が鈍化しています。現在の状況を鑑み、抜本的な営業・生産体制の見直しを図ることとしました。

具体的には、栽培を外部に委託し、今後は精米加工と販売事業に特化した展開を行っていく考えです。また、コメ以外の農産物や畜産物の取り扱いについても視野に

入れていきます。これらの転換により、来期以降の業績改善を果たすべく、当期中に構造改革を進めていきます。

一方、中国事業を展開する木徳(大連)貿易では、日系小売業・外食産業による中国進出の拡大に対応すべく、人員を補充し、営業体制を強化しました。

日本の小売業および外食産業は最近、中国での出店ペースをさらに加速しており、当社は安全・安心なコメの供給に対する要請を受けています。木徳(大連)貿易では、合併先である現地有力卸や、**COFCO(→P.3)**との緊密な連携を図り、日系企業および現地ベンダーへの供給を拡大していきます。

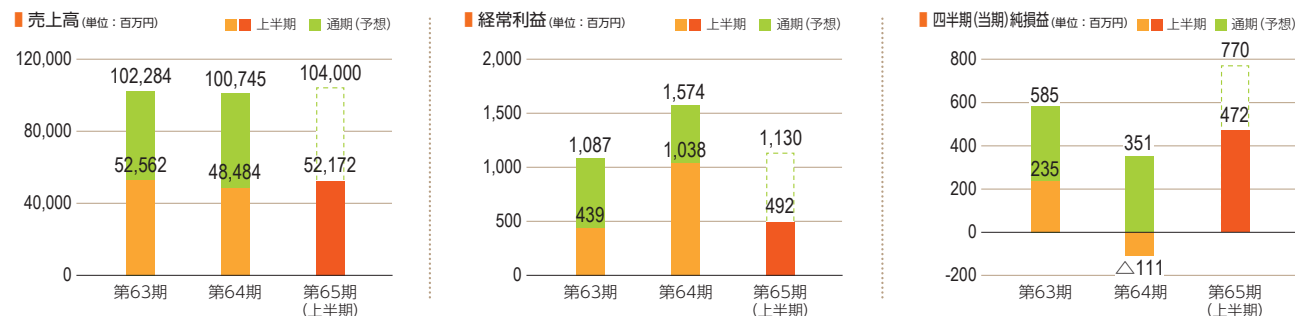
また、中国事業の今後の成長には、現地での中国語対応が不可欠となります。当社は、この8月から社員への中国語社内研修をスタートし、将来の展開に備えています。

Q 下半期については、どのような見通しですか？

A 平成24年産米も高値で出回り始め、厳しい状況が続くが、当初計画を達成できるように全力を尽くします。

冒頭に述べました平成23年産米不足感がある中、米穀業界では、例年よりも1ヵ月ほど早く新米に切り替えていく動きが出ています。そのため、**早場米(→P.3)**の取引が既に高値で始まっており、その全てを販売価格に転嫁することは困難です。当社では、平成24年産米の作況指数やJA全農による集荷状況に注視しつつ、的確な産地

業績の推移(連結) [Consolidated Business Results]



Pick Up! 木徳神糧の海外コメビジネス

主なビジネステーマ

- アンジメックス・キトク有限会社
ジャポニカ米や長粒種米の三国間貿易(東南アジアを中心に)
- キトク・アメリカ会社/キトク・タイランド会社
MA米の安定的な取り扱いと、SBS方式による輸入の拡大
- 木徳(大連)貿易有限公司
日系小売業・外食産業および現地ベンダーへの供給

海外コメビジネスとしては、この他にシンガポールや香港向けの日本米輸出の拡大に取り組んでいます。



情報を把握しながら対応を進めることで、下半期を乗り切っていく考えです。

食品事業については、鶏肉相場の低迷が当期中は続くと考えています。当社から内外食品への支援を強化しつつ、同社の体制再構築を進めていくことで、赤字幅の圧縮に努めていきます。

こうした取り組みにより、通期の連結業績については、期初の目標を変更せず、達成を目指していきます。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。
A 業界におけるリーダーシップを発揮する企業として、変革に向けて努力していきます。

当社は、我が国の主食であるコメの安定供給を通じて、米穀業界の発展を担っている者として自負しています。今後も仕入面や販売面の体制を一層強固に築いていくとともに、業界の変革に向けて努力してまいります。特に、米作農業を発展させていくための施策を官民ともに作り上げ、日本米を輸出商品としても成長させていく取り組みは、これからの大きなテーマであると考えています。

株主の皆様におかれましては、当社の未来に向けたチャレンジにご期待いただき、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



用語解説

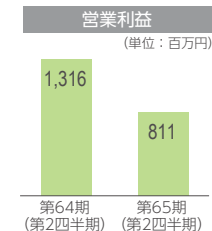
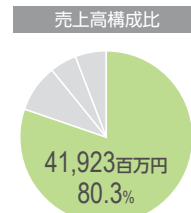
COFCO

- 中国国営による穀物商社最大手、中糧集团有限公司の略称。
- 北京市に本社を置き、食品メーカーを傘下に持つほか、金融業やホテル事業、不動産事業も展開している。

早場米

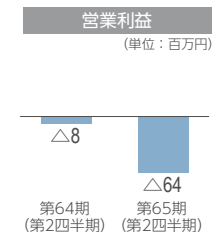
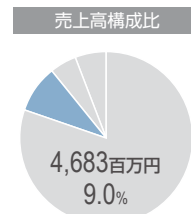
- 通常より早い時期（主に8～9月）に出荷される新米。秋の天候不順の回避や、商品性が高い新米を端境期に供給する目的で生産。より早期に出荷される「超早場米（7月）」もある。

米穀事業



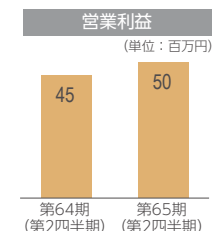
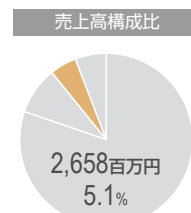
ミニマム・アクセス米や玄米の販売数量は減少しましたが、精米の販売数量は堅調であったことに加え、コメの販売価格が大幅に上昇したことにより、売上高は前年同期比2,966百万円の増収となりました。一方、物流費用や保管料等の販売コストが増加したこと等により、営業利益は前年同期比504百万円の減益となりました。

食品事業



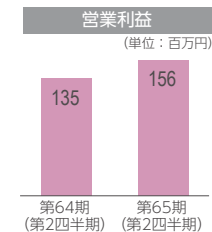
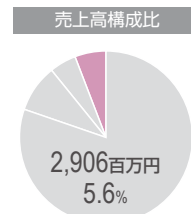
米粉やもち粉の新たな需要の増加、機能性食品の販売が堅調に推移した結果、売上高は前年同期比363百万円の増収となりました。しかしながら、原材料価格の高騰による惣菜加工販売の採算、また大震災後の冷凍鶏肉輸入の急増による鶏肉加工販売の採算が悪化し、営業損失は64百万円と拡大しました。

鶏卵事業



価格の安い一般卵の販売数量を拡大しましたが、鶏卵相場は前年同期より安値で推移していたことから、売上高は前年同期比287百万円の減収となりました。しかしながら、鶏卵加工品等の販売に注力したことが奏功し、営業利益は前年同期比5百万円の増益となりました。

飼料事業



配合飼料相場は1～3月期の値下げから4～6月期の値上げに転じているなか、糟糠類や牧草を中心に販売数量は前年同期より増加したことから、売上高は前年同期比645百万円の増収、営業利益は前年同期比21百万円の増益となりました。

お勧め商品の
ご案内

当社では、「安全と健康」、そして「おいしさ」をキーワードに、新しいコメの食べ方や、コメの持つ新しい機能を開発しています。

ライスミルクが「モンドセレクション※2012」優秀品質銀賞を受賞

砂糖や人工甘味料は一切使用しない自然派ドリンクとして、ライスミルクが「フード・アクション・ニッポンアワード2012」のプロダクト部門優秀賞受賞に続き、「モンドセレクション2012」優秀品質銀賞を受賞し、非常に高い評価をいただきました。

さらに、ライスミルクに新しいフレーバー“しょうが”が新登場。おコメの甘みとしょうがのベストブレンドを実現しております。



しょうが
NEW

おコメの甘みとしょうがのベストブレンドが癖になる。



プレーン

素朴でまろやかな自然の甘みとさわやかな酸味仕立て。



マンゴー

マンゴーのトロピカルな香りと味わいがさっぱりとした酸味にマッチ。

※モンドセレクション:ヨーロッパの首都ブリュッセルに1961年に設立された優秀品質の国際評価機関で、毎年80カ国以上から3,000に及び商品がモンドセレクションにて評価されます。

「聯米企業(ユニオンライス社)」から台湾米360トンを入力

近年台湾における高品質である日本米への需要が増加し日本米の台湾向けの輸出が増加しております。一方、栽培技術の向上等により台湾における日本米(ジャポニカ種)の栽培も広がりを見せております。当期においては、当社の平山社長が自ら台湾の産地を視察し、優良農産品CAS(財団法人CAS優良農産品発展協会のマーク)の認証を受けているユニオンライス社から360トンの台湾米を入力しました。



台湾の産地訪問
(左から3番目は平山社長。右から2番目は荘董事長)



台湾での検査風景

イベント情報

タイフェスティバル

タイ文化と伝統を広めるとともに、タイ料理を堪能してもらうことを目的に、タイ王国大使館の主催で開催されたタイフェスティバルに当社も出店し、フェスティバルを盛り上げました。

In 東京

2012年5月12日(土)・13日(日)
代々木公園

タイ米関連商品のプロモーション販売の実施に加え、さらに「ゴールデンフェニックス・ジャスミンライス」の看板を設置するなど新しい取り組みも行いました。



In 大阪

2012年5月19日(土)・20日(日)
大阪城公園

タイ香り米、タイ香り米無菌米飯が早い段階で完売となり、購入者から販売店舗に関する問い合わせを多くいただくなど高い評価をいただきました。



In 名古屋

2012年5月26日(土)・27日(日)
久屋大通公園

レストラン・物販の両ブースともに人の流れが途絶えない賑やかなイベントとなりました。また、香り米販売は好調で、予定数量を上回る販売結果となりました。



来場者数
16万人!

ラオスフェスティバル2012 2012年5月26日(土)・27日(日) 代々木公園

当社では、ラオス大使館と不登校の子ども達を社会に送り出すため、通信制高校の東京国際学園高等部・さくら国際高等学校が主催するイベント ラオスフェスティバル2012に参加しました。

ラオスの主食がもち米であることから、当社では「もち米の館」を出店し、タイのインディカもち米を鶏おこわとして試食用に配布を行いました。また、ラオス・ベトナム・タイ・ミャンマー・中国・米国・日本の主要もち米を展示し、多くの来場者の方々に興味をお持ちいただきました。



世界のもち米展示



インディカもち米の量り売り



店頭販売風景



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期末 平成24年6月30日現在	前期末 平成23年12月31日現在
資産の部		
流動資産	17,369	19,724
固定資産	7,297	7,299
有形固定資産	5,529	5,627
無形固定資産	75	74
投資その他の資産	1,692	1,597
資産合計	24,666	27,024
負債の部		
流動負債	16,057	18,128
固定負債	2,228	2,888
負債合計	18,285	21,017
純資産の部		
株主資本	6,094	5,705
資本金	529	529
資本剰余金	331	331
利益剰余金	5,251	4,864
自己株式	△17	△20
その他の包括利益累計額	△94	△119
少数株主持分	381	420
純資産合計	6,381	6,006
負債純資産合計	24,666	27,024

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期 自平成24年1月1日 至平成24年6月30日	前第2四半期 自平成23年1月1日 至平成23年6月30日
売上高	52,172	48,484
売上原価	48,678	44,628
売上総利益	3,494	3,855
販売費及び一般管理費	3,037	2,808
営業利益	457	1,047
営業外収益	129	106
営業外費用	93	115
経常利益	492	1,038
特別利益	93	258
特別損失	62	1,278
税金等調整前四半期純利益	523	18
法人税、住民税及び事業税	55	108
法人税等調整額	11	41
少数株主損益調整前四半期純損益	457	△132
少数株主損失	△15	△20
四半期純損益	472	△111

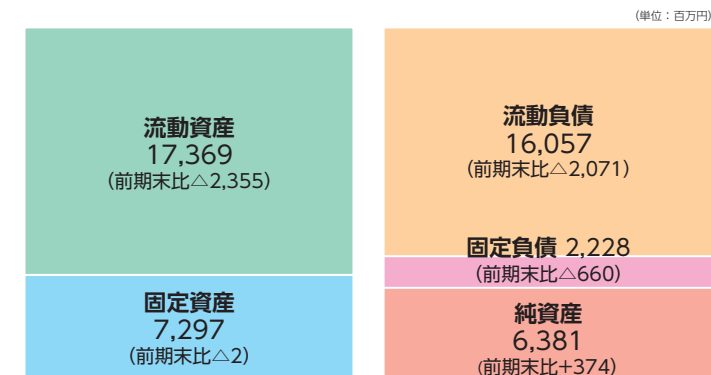
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期 自平成24年1月1日 至平成24年6月30日	前第2四半期 自平成23年1月1日 至平成23年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	432	2,022
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,276	△1,054
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△894	898
現金及び現金同等物の期首残高	2,974	1,901
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,023	2,799

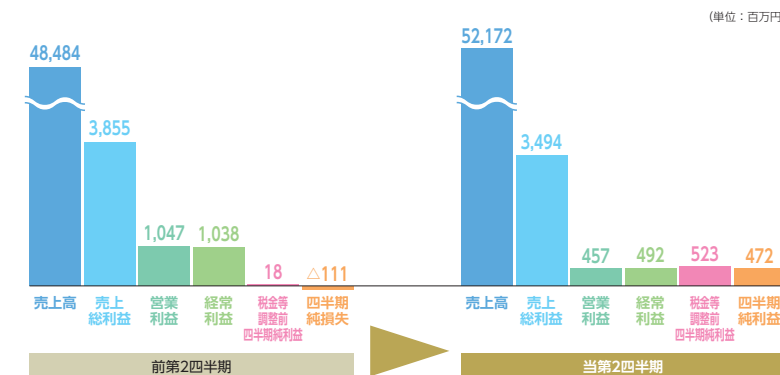
▶ 連結貸借対照表のポイント

流動資産:現金及び預金の減少額951百万円、受取手形及び売掛金の減少額873百万円等
 固定資産:有形固定資産の減少額98百万円等
 流動負債:支払手形及び買掛金の減少額1,441百万円、短期借入金の減少額329百万円等
 固定負債:長期借入金の減少額586百万円等



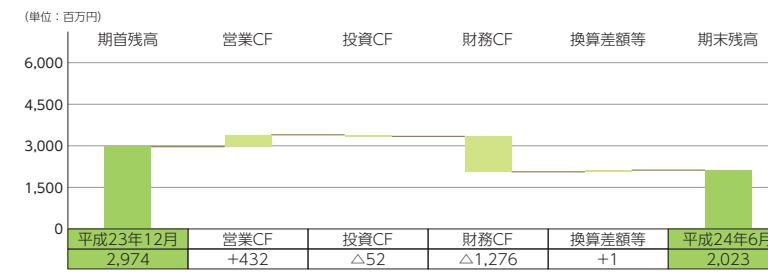
▶ 連結損益計算書のポイント

売上高:販売数量は減少したものの精米の販売数量は堅調であったこと等により前年同期比3,688百万円増加
 営業利益:米穀事業の利益率が低下、物流費用等のコスト増加等により前年同期比590百万円減少
 四半期純損益:子会社を吸収合併したことにより法人税等の低減が図られたことから前年同期比583百万円増加



▶ 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

営業活動によるCF:仕入債務の減少1,435百万円等に対し、税金等調整前四半期純利益523百万円、売上債権の減少940百万円等
 投資活動によるCF:有形固定資産の売却による収入74百万円に対し、有形固定資産の取得による支出88百万円等
 財務活動によるCF:短期借入金の減少332百万円、長期借入金の返済による支出781百万円、社債の償還による支出132百万円等



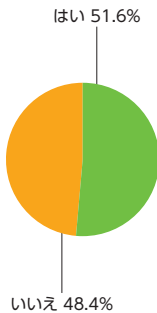
第64期株主通信アンケート結果



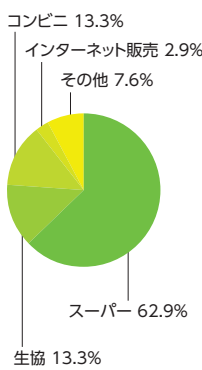
おこめ瓦版

第六十四期株主通信においてお願いしておりました株主アンケートでは、大変多くの株主の皆様からご回答いただきました。ご協力いただきました皆様に対し、厚く御礼申し上げますとともに、その結果の一部をご報告させていただきます。

「当社グループの商品をご購入されたことはありますか？」



「はい」とご回答された方はどこでご購入されましたか？」



過半数の方が、当社の商品のご購入経験がある結果となりました。現在は、スーパーでご購入される方が大半を占めておりますが、更なる販路の拡大により、当社の商品をご周知いただき、美味しいおこめをご堪能いただきたいと考えております。



株主の皆様からたくさんお寄せいただきましたおこめに関する、心温まるお話や苦労されたお話などのエピソードをご紹介します。よろしくお願いいたします。

「この炊き込みごはん美味いね、どこの？」、「木徳さんからの贈り物、今度はお赤飯だったよ」株主優待の贈り物で、老妻にささやかな貢献。時に感謝もされます。
(神奈川県 六十七歳 男性)

終戦後、食糧難で、我が家は十人家族で貧しかった。稲作をして収穫しても家族で食べることなく売って家計を支える。今度こそは食べられると思っていたのに！子供のころの思い出が今もコメは穀物の王様と位置づけています。
(東京都 七十五歳 男性)

学生時代に、海外をバックパックスの旅行していた頃、半年という長期間という事もあり、日本食に飢えていました。その時、ネパールのカトマンズにある小さい日本料理屋さんで食べた日本米とたくあん味の味が忘れられません。
(大阪府 三十二歳 男性)

三月十日が満七十七歳の誕生日だ。例年だと、ササゲを前日から煮て、せいろ・小鉢を用意するのにな、今年は赤飯で誤魔化された…と思っていたが、食べたらい。翌朝、冷たくなった赤

飯を食べたが、これも旨い…世の中が変わっていることを舌で感じた次第。
(神奈川県 七十七歳 男性)

私は百姓の息子。子供の頃、落穂拾いをさせられたので、今でも茶わん弁当など最後の一粒まで食べる希少人種となりました。
(静岡県 五十四歳 男性)

コメは戦後二〜三年は貴重品であった。芋のみの汁に数粒浮いていれば「今日はコメを食べた」と友人に話すようなものでした。
(福岡県 七十五歳 男性)

小学校低学年の頃、苗代の作り方をクラスで発表したことがあります。その際、発表のための下書きを考えあぐねていた私から、母が紙をひたたくるようにとって、さっさと自分で書いてしまったことを憶えています。
(香川県 五十四歳 男性)

今年に入ってから無洗米に切り替えました。研ぎ水が冷たいのと環境への負荷を考えての事で続けるつもりです。
(埼玉県 七十歳 男性)

会社概要 (平成24年6月30日現在) ●Corporate Data

■会社概要

商号 木徳神糧株式会社
 事業内容 米穀事業、飼料事業、海外事業、コメ加工食品事業
 本店所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座7-2-22
 本社所在地 〒132-0015 東京都江戸川区西瑞江2-14-6
 TEL: 03-5636-1501(代表)
 FAX: 03-5636-1601
 資本金 5億2,950万円
 従業員数 216名 (臨時雇用者を除く)

■役員

取締役・監査役		執行役員	
取締役 会長	木村 良	常務執行役員	稲垣 英樹
代表取締役社長	平山 惇	常務執行役員	鎌田 慶彦
取締役常務執行役員	三澤 正博	常務執行役員	竹内 伸夫
取締役常務執行役員	水野 正夫	執行役員	竹田 光男
取締役常務執行役員	伊豫田直記	執行役員	石田 俊幸
取締役執行役員	天川 誠	執行役員	大橋 正博
取締役	小森 浩資		
常勤監査役	高橋 健治		
監査役(社外)	松下 守		
監査役(社外)	杉野 翔子		

株式情報 (平成24年6月30日現在) ●Stock Information

■株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 30,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 8,530,000株
- (3) 株主総数 1,501名
- (4) 大株主

株主名	所有株式数	持株比率
木村謙三	405千株	4.77%
木村 良	347	4.08
濱田精栄株式会社	330	3.89
株式会社三菱東京UFJ銀行	300	3.53
黒田康敬	255	3.00
株式会社神明	247	2.91
木村友二郎	243	2.86
稲垣辰彌	230	2.71
水野正夫	223	2.62
木徳神糧従業員持株会	201	2.37

(注) 1. 所有株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は、自己株式(45,632株)を控除して計算し、小数点第3位を切り捨てて表示しております。

株主メモ ●Shareholders Memo

事業年度 1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 毎年3月に開催いたします。
 基準日 定時株主総会については12月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
 配当金受領株主確定日 12月31日及び中間配当金の支払を行うときは6月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
 上場証券取引所 株式会社大阪証券取引所
 公告方法 日本経済新聞